

科目名	基礎造形演習		Subject	Basic Modeling Practice	
サブタイトル	平面造形、立体造形、デザインに共通する美術全般の基礎技術の習得および作品制作				
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」		
開講年次	開講時期	必修／選択	美容芸術		社会実装
1 年	前期	必修			
授業形態	単位	時間			
演習	4 単位	60 時間	◎		
ゲストスピーカー招聘回	なし				
教員名	栗本 佳典		メールアドレス	yoshinori.kurimoto@・・・	
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】				
実践的教育	×				
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。				

科目の概要								
表現力や造形力の土台となる基本的なデッサンをはじめ、平面造形、立体造形、デザインに共通する美術全般の基礎知識や基礎技術を学び作品を制作します。さまざまな素材や技法を用い、それらの特徴と加工方法の違いや関連性を知り、幅広い技術を習得します。また、物事を分析する事、発想することによりデザインワークを体験します。さらに制作した作品の批評会やプレゼンテーションを行うことにより、美術に対する意識を高めながら自己の作品を客観的に見る力を養います。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	-	○			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
美容芸術	美術作品の制作で使うさまざまな技法を用い、それらの特徴や関連性を知り作品表現することができる。また、制作した作品の批評会やプレゼンテーションを行うことにより、美術作品や芸術に対する意識を高め、目標をもって作品制作ができる。							
教科書・教材								
教科書	なし							
参考文献	アトリエ美術技法百科（基礎デッサン）/美術出版社、アトリエ美術技法百科（基本デザイン）/美術出版社							
各自準備教材	なし							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	-	-	-	-	80%	20%	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
個別に実地指導を行います。								
履修上の条件・注意								
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	偶然性からの創作① 制作方法について	紙に絵の具や墨をにじませて自由に描くことができる。	画集やネットを見て偶然性による作品表現について調べる。	240 分
第 2 回	偶然性からの創作② 作品制作	絵の具や墨をにじませて描いたものを利用して作品制作することができる。	前回の続き	240 分
第 3 回	明暗の表現① 明暗の表現技法	空間や立体物の明暗の違いを理解し描写することができる。	画集やネットを見て平面作品における明暗の表現技法について調べる。	240 分
第 4 回	明暗の表現② 作品制作	空間や立体物の明暗の違いを理解し作品表現することができる。	前回の続き	240 分
第 5 回	遠近法の表現① 基礎理論	空間や立体物の構造や遠近感を理解し描くことができる。	画集やネットを見て平面作品における遠近法の表現技法について調べる。	240 分
第 6 回	遠近法の表現② 作品制作	空間や立体物の構造や遠近感を捉え作品表現することができる。	前回の続き	240 分
第 7 回	デッサンⅠ① 基礎理論	デッサンの基礎理論を理解し、形を正しく捉えることができる。	デッサンの基礎理論を踏まえて身近なものをデッサンする。	240 分
第 8 回	デッサンⅠ② 作品制作（形）	対象物を正しく捉え、形を描くことができる。	前回の続き	240 分
第 9 回	デッサンⅠ③ 作品制作（形と明暗）	対象物を正しく捉え、形や明暗を描くことができる。	明暗やバランスを意識して身近なものをデッサンする。	240 分
第 10 回	デッサンⅠ④ 作品完成	対象物を正しく捉え、形や明暗を描き作品全体のバランスを見ることができる。	前回の続き	240 分
第 11 回	コラージュによるイメージ表現① コラージュの解説・表現テーマの選定	コラージュ表現を理解し、説明することができる。	画集やネットを見てコラージュの表現技法について調べる。	240 分
第 12 回	コラージュによるイメージ表現② 作品試作	コラージュによる作品を試作することができる。	前回の続き	240 分
第 13 回	コラージュによるイメージ表現③ 作品制作	イメージと関連付けたコラージュによる作品を制作することができる。	画集やネットを見てコラージュによるイメージの表現技法について調べる。	240 分
第 14 回	コラージュによるイメージ表現④ 完成	イメージと関連付けたコラージュにより作品表現することができる。	前回の続き	240 分
第 15 回	デッサンⅡ① デッサン技法	デッサンの基礎技法を理解し、形や動きを正しく捉えることができる。	デッサンの基礎理論を踏まえて身近なものを複数組み合わせてデッサンする。	240 分

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 6 回	デッサンⅡ② 作品制作（形と動き）	対象物を正しく捉え、形や動きを描くことができる。	前回の続き	240 分
第 1 7 回	デッサンⅡ③ 作品制作（形と動きと明暗）	対象物を正しく捉え、形や動き、明暗を描くことができる。	明暗やバランスを意識しながら身近なものを複数組み合わせさせてデッサンする。	240 分
第 1 8 回	デッサンⅡ④ 作品完成	対象物を正しく捉え、形や動き、明暗を描き作品表現することができる。	前回の続き	240 分
第 1 9 回	紙による立体造形① 紙の特質について	紙の特質や効果を知り、説明することができる。	画集やネットを見て紙による立体の表現技法について調べる。	240 分
第 2 0 回	紙による立体造形② 作品制作（紙の特質）	紙の特質を活かして制作することができる。	前回の続き	240 分
第 2 1 回	紙による立体造形③ 作品制作（紙の特質と効果）	紙の特質を活かして効果的に立体作品を制作することができる。	画集やネットを見て紙による立体の表現技法や形の効果について調べる。	240 分
第 2 2 回	紙による立体造形④ 作品完成	紙の特質や効果を活かして作品表現することができる。	前回の続き	240 分
第 2 3 回	平面構成から立体造形へ① 平面構成について	平面構成の考え方について理解し説明することができる。	画集やネットを見て平面構成の表現技法について調べる。	240 分
第 2 4 回	平面構成から立体造形へ② 平面構成と色彩表現	平面構成における色彩の効果を理解しポスターカラーで彩色することができる。	前回の続き	240 分
第 2 5 回	平面構成から立体造形へ③ 平面と立体の関係	平面作品を意図的に分解して立体作品を試作することができる。	画集やネットを見て平面構成から立体作品を制作する表現技法について調べる。	240 分
第 2 6 回	平面構成から立体造形へ④ 立体作品制作（分解）	平面作品を意図的に分解して、立体作品のパーツを制作することができる。	前回の続き	240 分
第 2 7 回	平面構成から立体造形へ⑤ 立体作品制作（基本構造）	立体作品の基本構造を制作することができる。	画集やネットを見て平面構成が基になっていると思われる立体作品について調べる。	240 分
第 2 8 回	平面構成から立体造形へ⑥ 立体作品制作（多方向からの視点）	多方向からの見え方を意識して立体作品を制作することができる。	前回の続き	240 分
第 2 9 回	平面構成から立体造形へ⑦ 立体作品完成および相互講評	多方向からの見え方や色彩を意識して立体作品を表現することができる。また、相互講評により他者の作品の特徴や考え方を評価することができる。	調べた作品と自分の作品を比較して、技法の効果や表現方法、今後の展開について研究する。	240 分
第 3 0 回	プレゼンテーション	基礎造形演習で制作した作品をふり振り返り発表することにより、各材料や技法による表現の特性を理解し解説できる。	基礎造形演習で制作した作品の振り返りとまとめ	240 分